

早^{つと}に白^{はく}帝^{てい}城^{じょう}を^{はつ}発^{はつ}す

李^り

白^{はく}

朝^{あした}に^い辞^じす白^{はく}帝^{てい}彩^{さい}雲^{うん}の^{かん}間^{かん}

千^{せん}里^りの^{こう}江^{りやう}陵^{りやう}一^{いち}日^{じつ}に^{かえ}還^{かえ}る

両^{りやう}岸^{がん}の^{えん}猿^{せい}声^な啼^やいて^ま住^まざるに

軽^{けい}舟^{しゅう}に^す過^ぐぐ^{ばん}万^{ちやう}重^のの^{やま}山^{やま}

【作者】李白(七〇一〜七六二年)盛唐の詩人。字は太白。自ら青蓮居士と号する。世に詩仙と称される。西域・隴西の成紀

の人で、四川で育つ。若くして諸国を漫遊し、後に出仕して、翰林供奉となるが高力士の讒言に遭い退けられる。

安史の乱では苦勞をし、後、永王が謀亂を起こしたのに際し、幕僚となっていたため、罪を得て夜郎にながされ、やがて赦された。

【語釈】*白帝：白帝城のこと *早：時間帶上はやいこと。時期的にはよいこと。

*早発白帝城：朝早くに白帝城の町を出発する。 *作者・李白が永王の幕僚となっていたため、永王が謀叛とされ
たため、罪を得て夜郎にながされたが、途中で赦免され、李白は帰途についた。これは、その時のうきうきとした
心情をうたう。 *千里：はるかで多大な距離。 *江陵：「こうりやう」現・湖北省江陵县。白帝城より直線距離で
250キロメートルほど東の下流に位置している。かつての楚国の国都・郢である。 *一日：いちじつ。古来、
日が出て日が沈むまでを謂い、朝から夕方までのこと。 *還：(行つて)戻ってくる。かえる。

【通釈】朝早く朝焼け雲の下、白帝城を辞去し、はるかに離れた江陵に、一日の中に戻っていく。兩岸(の山々)では、猿

の啼き声がやまないが、軽やかで速い小舟は、すでに幾重にも重なった多くの山々の間を通り過ぎた。